令和８年度　理科　年間指導計画・評価規準　＜第１学年＞

月	単元・章（時数）	学習内容・目標	評価規準
4

7

	２章 音の世界（5）	や関係性を見いだして表現する。 ・音についての観察、実験を通して、音は物体が振動することによって生じ、空気中などを伝わることや、音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・音について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。	関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 光・音・力について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光や音の性質、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。
12	３章 力の世界（10）	・物体に力をはたらかせる観察、実験を通して、物体に力がはたらくとその物体が変形したり動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。また、物体にはたらく 2 力についての実験を行い、力がつり合うときの条件を理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・力について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。	【主体的に学習に取り組む態度】 光・音・力に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1	単元４ 大地の変化 １章 火をふく大地 (8)	・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 ・火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現する。	【知識・技能】 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動や地震の伝わり方、地層の重なり方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 火山活動や地震の伝わり方、地層の重なり方について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、地震の原因と地球内部のはたら
2	２章 動き続ける大地（8）	・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。	

		・地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現する。	きとの関係性、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。
3	３章 地層から読みとる大地の変化(10)	・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 ・地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。	【主体的に学習に取り組む態度】 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。